

防災だより

平成 25 年 7 月第 14 号
下田市市民課防災係
Tel.0558-36-4145

平成25年6月27日に静岡県第4次地震被害想定第一次報告が公表されました。本想定は、第3次地震被害想定（平成13年）以降に発生した、東日本大震災をはじめとする地震・津波災害が残した教訓や科学的知見を生かしつつ、地震・津波の想定をレベル1・レベル2とし、それらがもたらす被害の様相を想定しています。

本想定は、これからの下田市の地震・津波対策の基礎資料として活用します。また、皆さん一人ひとりが、自らの命を守るため「自分で考え、判断し、行動する」ための参考として活用してください。

静岡県第4次地震被害想定 —第一次報告のポイント—

●想定対象地震について

区分	概要	駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震	相模トラフ沿いで発生する地震
レベル1の地震・津波	発生頻度が比較的高く（駿河トラフ・南海トラフでは約100年～150年に1回の間隔）、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波	東海地震 東海・東南海地震 東海・東南海・南海地震 （マグニチュード8.0～8.7）	大正型関東地震 （マグニチュード8.0程度）
レベル2の地震・津波	発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波	南海トラフ巨大地震 （マグニチュード9程度）	元禄型関東地震 （マグニチュード8.2程度）

●下田市において最大の被害をもたらす

「レベル2の地震・津波（南海トラフ巨大地震）」の被害想定について

震度

震度区分	震度6弱	震度5強
面積 (km ²)	46.3	61.4

津波高

区分	最大	
	最大	平均
高さ (T. P+m)	33m	15m

津波最短到達時間

高さ	+50cm	+1m	+3m	+5m	+10m	+20m
時間 (分:四捨五入)	12	13	13	13	14	17

津波浸水面積

高さ	1cm以上	1m以上	2m以上	5m以上	10m以上
面積 (km ²)	5.0	4.6	4.2	3.3	1.3

全壊・焼失棟数 ※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

区分	揺れ	液状化	人口造成地	津波	山崖崩れ	火災	合計
棟数	約90	約40	—	約3400	約90	—	約3700

半壊棟数 ※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

区分	揺れ	液状化	人口造成地	津波	山崖崩れ	火災	合計
棟数	約600	約90	—	約600	約200	—	約1400

死者数 ※端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

区分	建物崩壊	津波	山崖崩れ	火災	ブロック転倒、 屋外落下物	合計
人数 (早期避難率低)	約10	約5100	約10	—	—	約5100
人数 (早期避難率高)	約10	約2000	約10	—	—	約2000

※ 避難開始時間の設定：レベル1は直接避難者発災3分後、用事後避難者発災13分後、レベル2は直接避難者発災5分後、用事後避難者15分後、夜間はさらに5分準備がかかると仮定しています。

※ レベル1、レベル2の最大浸水深図については下田市ホームページで公開しています。

※ 市内の主要な公共施設や避難所、海水浴場などの詳細な情報（最大浸水深、最短到達時間）については、分かり次第ご報告します。

今後の取組

●静岡県地震・津波アクションプログラム2013について

第4次地震被害想定において推計された被害をできる限り軽減するため、津波対策をはじめ広範な地震対策の主要な行動目標を策定したものです。

対策の柱：津波を防ぐ	防潮堤等津波防御施設の整備を進め、計画期間の10年間で、レベル1の津波による人的被害を8割減少させることを目指します。
計 画 期 間	平成25年度から平成34年度までの10年間
海岸の津波対策施設整備箇所 (予定)	県管理：吉佐美海岸、下田港海岸 市管理：吉佐美漁港海岸、田牛漁港海岸
河川の津波対策施設整備箇所 (予定)	県管理：稲生沢川、大賀茂川に水門設置

(対策の内容や範囲等は、今後の詳細検討の結果、変更となる可能性があります。)